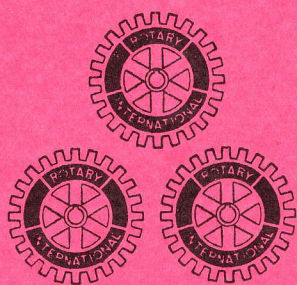


1979～1980年度

# クラブ活動計画書



昭和54年 7 月

R. I. 第259区

## 大和中ロータリークラブ

会 長 芦 田 敬 治  
幹 事 北 砂 富 三



1979～80年度

# クラブ活動計画書

昭和54年7月1日

1979～80年度

ジェームス・エル・ボーマー・ジュニア  
R. I. 会長テーマ

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で道を照らそう

大和中ロータリークラブ芦田会長テーマ

友愛と協調

## 大和中ロータリークラブ

会長 芦田 敬治  
幹事 北砂 富三

事務所 大和市商工会館内  
例会場 電話 (63) 7926

# クラブ活動計画書

## 目 次

本年度の運営方針	3
会 務 報 告	5
大 和 市 略 図	7
会 計	8
委 員 会 報 告	
クラブ奉仕委員会	10
出 席 委 員 会	11
職 業 分 類 委 員 会	12
職 業 分 類 一 覧 表	13
ク ラ ブ 会 報 委 員 会	16
親 睦 活 動 委 員 会	17
雑 誌 委 員 会	18
会 員 選 考 委 員 会	19
会 員 増 強 委 員 会	20
プ ロ グ ラ ム 委 員 会	21
プ ロ グ ラ ム 予 定 表	22
広 報 委 員 会	27
ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会	28
ス マ イ ル ボ ッ ク ス 委 員 会	29
S . A . A .	30
職 業 奉 仕 委 員 会	31
国 際 奉 仕 委 員 会	32
ロ ー タ リ ー 財 団 委 員 会	33
社 会 奉 仕 委 員 会	34
青 少 年 奉 仕 委 員 会	35
米 山 奨 学 記 念 委 員 会	36
7 5 周 年 記 念 委 員 会	37
(別表) (1) 大和中ロータリークラブ会員名簿	38
(2) 理事・役員・委員会一覧表	40
(3) 歴年会務分担表	41
(4) 大和中ロータリークラブ電話連絡網	43

## 本年度の運営方針

会長 芦田敬治

当クラブも創立2年目を迎え、今後は星特別代表の手元を離れて独立独歩の第1歩を踏み出すこととなります。本年度はクラブ発展の基礎を更に強固にするため、「会員は平等」というロータリーの基本理念をもとに、チャーターナイトで発揮された全会員の協調の精神をより一層昂め、又親睦が更に深められるようお互いがより多く知り合い、心のふれあいを大切にする「友愛と協調」をテーマとしてこれからの1年を過したいと考えております。

### 本年度運営方針の重点

1. 楽しい雰囲気の例会と、出席率の向上。
2. 全会員の協力による会員増強の推進。
3. ロータリアンとしての基本的理念を身につけるための勉学と奉仕の実践。
4. ロータリー創立75周年記念事業への全会員の協力。
5. 会員は例会は勿論、すべての行事に積極的に参加し「友愛と協調」の精神を発揚すると同時に、スポンサークラブ及び他クラブとの提携を密にしてロータリーの理念の追求と、奉仕の実践に努めて参り度いと思えます。

幹事 北砂富三

今年度は昨年一年間の過去を教訓としてクラブ内の足固めをすると共にロータリーの精神に基づき私達クラブの各々会員の個性を活し楽しいクラブを築き上げる基礎作りをしたいと思えます。

そのために会長を補佐し現行のクラブ定款を調和をとり、会の記録、整理、保存、会合における出席を記録し、全会員と密接な協調をはかり任務を遂行致します。



# 会 務 報 告

幹 事 北 砂 富 三  
副幹事 富 沢 重 徳

## 1. クラブの沿革

創 立 昭和53年5月 9日  
 R. I. 承認 昭和53年6月23日  
 スポンサークラブ 大和ロータリークラブ  
 特別代表 星 幸 男 氏  
 ガバナー 細 谷 実 氏  
 チャーターメンバー 23名  
 区域限界 大和市全域 (別紙)  
 例 会 場 大和市商工会館3階会議室  
 事 務 所 大和市商工会館2階  
 電話 (63)7926

## 2. 会員の種類

正 会 員 28名  
 アディショナル正会員 0名  
 シニアアクティブ会員 0名  
 名 誉 会 員 0名

## 3. 区域内人口、会員数、出席率、ビジター及びゲスト数、会費、入会金一覧表

年 度	人 口	会 員 数 (年度初め)	平均出席率	ビジター及 びゲスト数	入 会 金	会 費
昭和53年	159,718	23名	100%	(含. 仮クラブ) 80名	100,000円	168,000円
53年~54年	159,963	22名	99.76%	484名	100,000円	168,000円
54年~55年	164,748	28名			100,000円	168,000円

4. 会 員 状 況

a) 会員名簿一覧表 別表(1)

b) 会員年令構成

30才台	3名		
40才台	13名	最高	68才
50才台	10名	最少	34才
60才台	2名	平均	48.79才
計	28名		

5. 理事、役員、委員会構成メンバー (別表(2))

6. 理事会、例会及び委員会

毎月第2例会後に定例理事会を開催する他、必要に応じて随時開催する。  
 例会は毎週木曜日午後12時30分より開催するが、時により変更する。  
 尚、国の定めた祝祭日及び正月三ケ日は休会とする。  
 各委員会は、活動打合せのため適時委員会を開催する。

7. クラブアッサンブリー

新 年 度	1 月 中
地 区 大 会 後	I . G . F . 後
ガバナー公式訪問2週間前	年 度 末
ガバナー公式訪問時	

8. ロータリー財団

○当クラブのポールハリス・フェロー

○新入会時13ドル、会員1人当り  
3ドルの追加寄付をする。

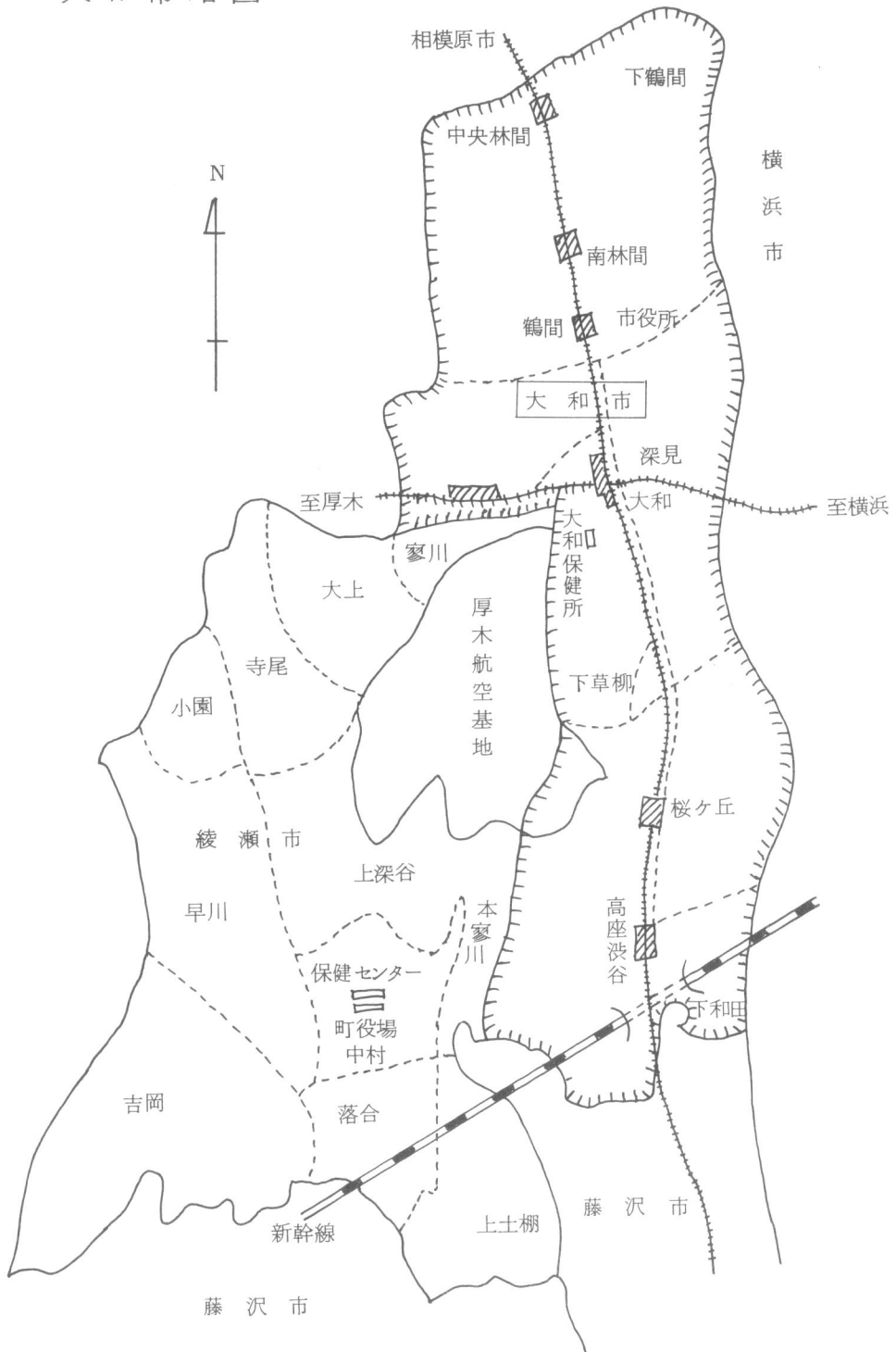
1. 亀 谷 志 郎
2. 寺 田 伍 六
3. 矢 野 久 元

9. 歴年会務分担表 (別表(3))

10. 歴代会長・幹事名

年 度	会 長 名	幹 事 名
昭和53年	矢 野 久 元	長谷川 清 一
53年～54年	{ 矢 野 久 元 蜂 屋 良 平 }	長谷川 清 一
54年～55年	芦 田 敬 治	北 砂 富 三

# 大和市略図





# 会 計

## 辻 国 明

1. 入 会 金 当クラブの入会金は100,000円とし、入会承認と同時に納入しなければならない。
2. 会 費 当クラブの会費は、年額168,000円とし、毎年2回に分け(7月1日・1月1日)、84,000円宛納入しなければならない。但し、各半年毎の会費のうち、例会の食事代はこの中に含まれる。

# 1979~1980年度一般、奉仕会計予算表

(昭和54年7月1日～昭和55年6月30日)

科		目	本年度予算	科		目	本年度予算	
一 般	収入の部	年会費	5,376,000	奉 仕 会 計	収入の部	スマイル	800,000	
		入会費	600,000			支出の部	チャリティ	0
		ビジネス会費	432,000				社会奉仕	300,000
		雑収入	5,000				青少年奉仕	150,000
	前年度繰越金	1,175,982	社会奉仕合計		450,000			
	収入の部合計				7,588,982	職業奉仕	50,000	
	支 出	クラブ運営費	例会費		2,219,000	国際奉仕	200,000	
			事務局給与		800,000	予備費	100,000	
			交際費		50,000	支出の部合計		800,000
			贈答費		70,000			
通信費			30,000					
印刷費			160,000					
文具費			150,000					
備品費			30,000					
会長幹事会費			150,000					
クラブ協議会費			150,000					
クラブ運営費合計			4,529,000					
会 計	クラブ奉仕	親睦活動	158,000					
		出席	5,000					
		雑誌	112,000					
		スマイル	193,000					
		会報	600,000					
		会員拡大	15,000					
		広報	10,000					
		プログラム	240,000					
		ロータリー情報	55,000					
		クラブ奉仕合計			1,388,000			
部	地区費	地区資金	310,000					
		地区大会分担金	180,000					
		地区協議会費	84,000					
		I・G・F負担金	53,000					
		地区費合計			627,000			
R・I 負担金	R・I負担金	人頭分担金	85,000					
		奨学資金	64,000					
		ロータリー財団寄附	20,000					
		入会時13ドル寄附	18,000					
		R・I負担金合計			187,000			
予備費			857,982					
支出の部合計			7,588,982					

## ク ラ ブ 奉 仕

担当理事 佐 藤 実

ロータリークラブ奉仕活動の源はクラブ奉仕であることを認識すると共に会長の補佐に心がけ、あらゆるロータリークラブの行事に積極的に参加し、相互理解と友情を温め委員会間を調整してクラブ奉仕活動の充実を計るよう、努力する。

- 1) 例会及び地区協議会並びにロータリーの行事等に会員の出席向上を出席委員会と共に努力する。
- 2) 職業分類の未充填を補充することに努め、会員増強10名を目標に増強委員会をはじめ各委員会及び会員と共に努力する。
- 3) 各委員会が円滑な運営が出来るように助勢し、理事会とのパイプ役を務めるように努力する。



## 出席委員会

委員長	大高安男
副委員長	松本忠明
委員	富沢重徳

当委員会は、クラブ奉仕担当理事と、常に連絡を密にして、ロータリアンとしての誇りを持って、常に100%出席達成を期す為に、次の事を提案します。

1. ホームクラブ一年間無欠席者の表彰。
2. 欠席者に対し、4日以内に電話等によるメイクアップの依頼。
3. 外国等遠方に於て、メイクアップをした会員には、簡単なスピーチをお願いすると同時に、会長よりのねぎらいの言葉を贈って戴く。
4. 長期病欠者には、会長幹事だけでなく、会員も出来るだけ見舞等訪問する様に心掛ける。
5. 多くの新クラブが出来たので、その出席率を報告して、出席率競争により、出席率を高める。

## 職 業 分 類 委 員 会

委員長 ① 猪 熊 唯 夫

副委員長 ② 上 田 利 久

委 員 ③ 袴 田 和 雄

標準クラブ定款第5条に述べられている職業分類に基づくロータリーの会員組織の原則の理解から始めようと思う。地域社会の職業分類調査を行ない職業分類表を作製して、これを充填するよう積極的に呼びかける。

## 職業分類一覽表

職 業 分 類	現 会 員 名	事 業 所 名
外 科 医	芦 田 敬 治	芦 田 医 院
内 科 医	有 沢 昭 二	大 和 診 療 所
小 児 科 医	上 田 利 久	ウ エ ダ 小 児 科
産 婦 人 科 医		
耳 鼻 科 医		
眼 科 医		
診 療 所	亀 谷 志 郎	中 央 診 療 所
歯 科 用 材 料		
医 薬 品 製 造	土 屋 翁 三	サ ン 薬 品 工 業 (株)
医 薬 品 販 売	袴 田 和 雄	(有) 健 康 堂 薬 局
男 子 服 製 造 販 売		
乳 製 品 販 売		
洋 菓 子 製 造	松 本 忠 明	(有) チ ロ ル
和 菓 子 製 造		
清 酒 販 売	伊 藤 英 夫	カ ギ サ ン 酒 店
清 涼 飲 料 販 売	鈴 木 久 次 郎	(有) 鈴 久 酒 店
和 風 レ ス ト ラ ン	石 渡 英 二 郎	鮎 忠 大 和 店
寝 具 販 売	猪 熊 唯 夫	(資) イ ノ ク マ 寝 具 店
事 務 用 品 販 売		
時 計 販 売		
貴 金 属		
ガ ス 器 具 製 造		
商 業 銀 行		



職 業 分 類	現 会 員 名	事 業 所 名
信 用 金 庫		
損 害 保 險	北 砂 富 三	ローリンズ・ヒース・ジャパン(株)
生 命 保 險		
陸 上 輸 送 業	蜂 屋 良 平	日 本 ト ラ ッ ク (株)
貸 倉 庫		
貨物自動車運転台製造	伊 藤 正 男	車 体 工 業 (株)
ガソリンスタンド		
自 動 車 販 売		
自 動 車 修 理		
自 動 車 電 装 品		
コンピューターシステム	辻 国 明	(株)日本コンピューターユーセージ
プラスチック工業		
紙 工 業		
ガ ラ ス 製 造		
厚 鋼 板 加 工	佐 藤 実	三 和 建 鉄 (株)
鉄 鋼 工 業		
板 金 打 貫 加 工	郡 司 守	成 興 工 業 (株)
超 硬 金 型 製 造		
鍛 造		
金 属 製 工 具 類		
鉄 骨 建 築	藤 田 重 成	(有) 藤 田 工 務 店
木 造 建 築	大 高 安 男	(有) 進 栄 建 設
土 木 業	寺 田 伍 六	(株) 寺 田 土 木
木 材 販 売		
建 築 材 料 販 売	中 西 功	(有) 中 西 商 店

職 業 分 類	現 会 員 名	事 業 所 名
建 築 材 料 輸 入	布 施 光 雄	西 友 商 事 (株)
防 水 工 事	木 崎 健 祐	有 明 工 業 (株)
ペ ッ ト 販 売		
獣 医		
印 刷 業		
写 真 器 販 売		
幼 稚 園		
仏 教		
経 営 コ ン サ ル タ ン ト	長 谷 川 清 一	長 谷 川 経 営 コ ン サ ル タ ン ト 事 務 所
税 務 代 理		
不 動 産 業		
不 動 産 賃 貸	富 沢 重 徳	と み さ わ ビ ル (株)
不 動 産 管 理	近 藤 富 士 男	(株) 近 藤 商 事
電 気 供 給 事 業		
電 気 工 事		
電 気 器 具		
電 子 機 器 部 品 加 工	竹 之 内 弘 美	(有) 吹 上 製 作 所
冷 暖 房 空 調 設 備	保 田 達	(株) ト オ ル 設 備 工 業
充 填 職 業	2 8	
未 充 填 職 業	3 8	

## ク ラ ブ 会 報 委 員 会

委員 長 上 田 利 久

副委員 長 竹之内 弘 美

委 員 郡 司 守

### 〔 編 集 方 針 〕

記録性、教育性、親睦性の三つの目的に沿った読み易い会報にしたいという前年度の方針を大切に守っていききたい。

ロータリー2年生としての会員各位の見解なども取りまぜながらロータリー情報も挿入していききたい。

当委員会が単に秘書的な役割りのみにて終わってしまうことの無いよう皆様のご協力をお願いしたい。

### 〔 具 体 的 計 画 〕

- 毎週欠かさず発行する。
- 正確な伝達性を保つため、会長・幹事・各委員会報告は勿論のこと卓話も含め発言された方に抄録又はメモを必ず提出して頂く。
- ロータリー知識の向上の一助となるようロータリー情報を多く載せていききたい。
- 他クラブ会報を参考にし、会報の質的向上を計る。メイクアップ時に入手された他クラブ会報も提供していただく。

## 親睦活動委員会

委員長	中西	功
副委員長	保田	達
委員	木崎	健祐
	布施	光雄

第二期目の当委員会としては、大筋において前期を踏襲し、しかし次の諸点においては新規に実行していきたいと思います。

- 一、ビジターの歓迎 遠方来訪者には一分間スピーチをしてもらう。
- 二、新入会員への心づかい クラブ会報に新会員の写真と略歴をのせ、又、イニシェイションスピーチ時にゲストテーブルに着席してもらい顔と名前の一致を計る。
- 三、全会員の親睦 全会員に次の事に対して届出の義務づけをする。(一)、地方的あるいは国家的に表彰されたクラブ会員。(二)、会員に関する珍しい出来事。(三)、会員直系家族の出生・結婚・記念日等。(四)、ロータリアンの家族の病気あるいは不幸。以上の事については例会時に発表する。
- 四、特別活動 (一)、夫人誕生日には原則として例会に同伴出席してもらいバースデーカードを贈り、もし出来れば日常生活等の短い話をしてもらう。(二)、会員入会記念日には記念品を贈る。(三)、家族会には出来れば会員の別荘とか会社寮施設等を利用するピクニックをとり入れたい。
- 五、大和・座間・大和中の三クラブ合同例会を当クラブホストで十二月二十七日に行う。場所その他詳細は各クラブ委員との打合会を持ち決める。



## 雑 誌 委 員 会

委員 長 鈴 木 久次郎

副委員 長 伊 藤 正 男

本年雑誌委員会の計画としまして、ロータリーに関する情報を吸収するため、会員の希望する、各種ロータリー文献、参考資料、雑誌等を収集しクラブ図書として自由に愛読いただく様、推進すると共に各自の感想を発表していただき、討論するためのテーマを求めていきたい。

- ① 公共施設等に本、雑誌等を贈る事も委員会の事業とし会員に協力をよびかけ、贈り先を関係委員会と談合の上、決定させていただく所存です。
- ② ホームクラブの有意義なニュース記事、写真その他興味ある記事をロータリーの友に投稿を促し、合せてクラブの紹介を行っていきたい。
- ③ 毎月、友のニュースの予告編を例会日に報告し、ロータリーの友の中より会員が感じた事は例会日に読上げていただく。

## 会 員 選 考 委 員 会

委 員 長 富 沢 重 徳

副委員長 近 藤 富士男

委 員 亀 谷 志 郎

会員選考の原則・手続についてはロータリークラブ細則第8条第4節(e)及び第11条第1節の条項に則り、正しくその目的が果されるよう努力し、慎重な調査をしたいと考えます。

現在の当クラブは老若の隔たりもなく、感情的対立やセクト的派閥もなく、ロータリアンは皆平等という友情と思いやりの絆に結ばれている。

こういう皆の努力で築いたよい環境・状態はこれを大切に守りたいと考え、新たな会員の選考に当たってもこのことをよくふまえて、あせらずに特に我が大和中RCの会員として和を以てロータリーの目的と活動に賛同できる人かどうかという「人柄」の判断に重点をおいて以下各項に亘り審査したいと考えます。

1. 本人の人柄と社会的風評が人格的にも職業的にも非難の余地がないかどうか。
2. 本人の勤務する事業所に対する一般社会及びその取引先等の評判はよいかどうか。
3. 奉仕に対する本人の考え方や熱意はどうか。
4. 本人のロータリークラブの活動に対する時間的・金銭的・健康的条件は大丈夫かどうか。

以 上

## 会 員 増 強 委 員 会

委 員 長 木 崎 健 祐

副委員長 中 西 功

委 員 寺 田 伍 六

会員増強は、当クラブが円滑に運営され、ロータリー精神に則った活動をし、地域社会に奉仕するには欠く事の出来ないものであります。地域社会につながりを持ち地域限界内に居住する適格な人物を一人でも多く会員に迎えることが重要かつ必要なのであります。会員の増加により会の質の低下につながるものでなければ、会員増加に対して積極的な姿勢を取るべきであります。当クラブ全員が、職業分類委員会、会員選考委員会と、クラブ奉仕担当の理事を通じて、緊密な連絡をとり、会員増強計画の実践に努力するようつとめます。

- ① 全地域を六ブロックに別けて、そのブロックのリーダーを決めて、情報報告を毎月第一例会日に交換する。
- ② その情報に基づき、職業分類委員会、会員選考委員会、奉仕担当理事を通じて会員増強に務める。

## プログラム委員会

委員長 土屋 翁 三

副委員長 袴 田 和 雄

委 員 保 田 達

プログラム委員会の任務は、四つの奉仕部門を例証する均衡のとれた例会プログラムを編成することですが、発足して間もないクラブですから、昨年同様、ロータリーに関する勉強、又会員相互の親睦を深めることに重点を置いたプログラムを編成する。

具体的計画として

- ① ロータリーの基本である会員相互扶助の精神を考え、全会員にプログラムを割り当て、企業内容、経営論等、有意義な卓話をしていただく。  
万一本人が実行できない場合は、その担当者は代りの卓話者を招いていただく。
- ② 内容のある卓話については、それを録音し、適宜貸し出しをする。
- ③ 翌月分のプログラム内容を前月に発表する。

## 年間プログラム予定表

月	日	曜日	時間	事項	内容	担当
7	5	木	12:30	例会	就任挨拶 芦田会長 北砂幹事	
	12	木	12:30	例会	G.S.E. 報告 ゲストスピーカー 小武徹郎 氏	北 砂
			13:30	理事・役員会		
	19	木	12:30	例会	ゲストスピーカー 灘波喜久寿 氏	蜂 屋
	26	木	12:30	例会	ゲストスピーカー 第6分区代理 塚本 勉 氏	芦 田
8	2	木	12:30	例会	ゲストスピーカー 趙南元氏 「中国人の見た日本」	土 屋
	9	木	12:30	例会	ゲストスピーカー 大和市福祉課 大西氏 「大和市の福祉について」	亀 谷
			13:30	理事・役員会		
	16	木	12:30	例会	インシェイションスピーチ 中西君、石渡君	
	23	木	12:30	例会	クラブフォーラム 「クラブ奉仕について」	佐 藤
	30	木	12:30	例会	インシェイションスピーチ 有沢君、保田君	
9	6	木	12:30	例会		

月	日	曜日	時間	事項	内容	担当
9	13	木	12:30	例会	ゲストスピーカー 中根正雄氏 「すぐ役立つスピードメモ法」	土屋
			13:30	理事・役員会		
	20	木	12:30	例会	ゲストスピーカー 星 幸男氏 「青少年奉仕活動週間にあたり」	伊藤
	20	～	23日	アジア地域大会	韓国 ソウル	
27	木	12:30	例会	ゲストスピーカー 小堀憲助氏	芦田	
10	4	木	12:30	例会	ゲストスピーカー 建野正毅氏 「パラグアイの医療情勢について」	上田
	7	日		第一回家族会		中西
	11	木		7日の家族会に振替		
	18	木	12:30	例会	ゲストスピーカー地区委員長 鈴木克也氏 「職業奉仕週間にあたり」	寺田
	20 }	土		第259地区	地区大会	
	21	日				
25	木	12:30	例会	ゲストスピーカー 小堀憲助氏	芦田	
11	1	木	12:30	例会	クラブフォーラム 「社会奉仕について」	亀谷
			18:30		クラブ協議会 「地区大会を終了して」	北砂

月	日	曜日	時間	事項	内容	担当
11	8	木	12:30	例会	ゲストスピーカー 永野清治氏	芦田
			13:30	理事・役員会		
	15	木	12:30	例会	有沢昭二君 「ロータリー-財団週間にあたり」	有沢
	22	木	12:30	例会	クラブ協議会 「ガバナー公式訪問にそなえ」	北砂
29	木	18:30	例会	辻 国明君 「コンピューターの話」	辻	
12	6	木	12:30	例会	ゲストスピーカー 小堀憲助氏	芦田
	12	水	15:00		ガバナーとともに クラブ協議会	北砂
	13	木	12:30	例会	ガバナー公式訪問 伊藤 茂 ガバナー	
			13:30	理事・役員会		
	20	木	12:30	例会	寺田伍六君 「私の道楽」	寺田
	27	木	12:30	例会	三クラブ合同例会	中西
1	3	木		正月の為	休 会	
	10	木	12:30	例会	「年頭にあたり」 芦田会長挨拶 「半期報告」 北砂幹 事	
13:30			理事・役員会			



月	日	曜日	時間	事項	内 容	担 当
1	17	木	18:30	例 会	クラブ協議会 「半年終了して」	北 砂
	24	木	12:30	例 会	イニシェイションスピーチ 竹之内君、伊藤田君	
	27	日		第二回家族会		中 西
	31	木		27日の家族会に振替		
2	7	木	12:30	例 会	ゲストスピーカー 中国留学生代表	土 屋
	14	木	12:30	例 会	クラブフォーラム 「国際奉仕について」	郡 司
			13:30	理事・役員会		
	21	木	12:30	例 会	松本忠明 君 「ロータリー創立記念日にあたり」 (75周年記念)	松 本
	28	木	12:30	例 会	イニシェイションスピーチ 布施君、	
3	6	木	12:30	例 会	ゲストスピーカー 星 幸男 氏 「青少年交換」	郡 司
	13	木	12:30	例 会		保 田
			13:30	理事・役員会		
	20	木		祝日のため	休 会	
	27	木	18:30	例 会	クラブ協議会 「I.G.F.を終了して」	北 砂

月	日	曜日	時間	事項	内 容	担 当
4	3	木	12:30	例 会	クラブフォーラム 「職業奉仕について」	寺 田
	10	木	12:30 13:30	例 会 理事・役員会		袴 田
	17	木	12:30	例 会	ゲストスピーカー 地区委員長 「世界社会奉仕計画について」	郡 司
	24	木	12:30	例 会	鈴木久次郎君 「雑誌週間にあたり」	鈴 木
5	1	木	12:30	例 会	有沢昭二君 「米山記念奨学会について」	有 沢
	8	木	12:30 13:30	例 会 理事・役員会	芦田敬治 君 「クラブ創立記念日にあたり」	芦 田
	15	木	12:30	例 会	富沢重徳 君 「教育としつけ」	富 沢
	18	日		第三回家族会		中 西
	22	木		18日の家族会に振替		
	29	木	12:30	例 会	イニシェイションスピーチ	
6	5	木	12:30	例 会		竹之内
	12	木	12:30 13:30	例 会 理事・役員会	次年度会長運営方針	
	19	木	18:30	例 会	クラブ協議会 「一年の活動をふりかえって、 次年度活動について」	北 砂
	26	木	12:30	例 会	芦田会長、北砂幹事 「1年を顧りみて」	

# 広 報 委 員 会

委員長 保 田 達

副委員長 辻 国 明

当広報委員会の活動任務は、非ロータリアン即ち外部の人に、そして地域社会にロータリーを又活動状況を理解していただくための広報計画を立て、ロータリークラブの認識を深めるべく、内部そして特に外部的に実行する委員会であると思います。

一応外部への伝達的手段としては、地域社会に、公平に且正確に広く配布されている、広報やまと（月2回発行 部数5万部）を扱う市役所広報課など、ニュース媒体のための団体（ローカル新聞等は慎重を期したい）広報機関に対し積極的に協力し、活用してゆきたいと思います。内部では関連クラブなど、重要な又参考となるような情報はその所属する委員会ともよく連絡をとりながら内部伝達をしてゆきたいと思います。今年は特に75周年記念事業が、プログラムの中にも盛り込まれておりますし、委員会も設置されましたので連絡を密にしながら、重点的に、広報活動をしてゆきたいと思います。

## ロータリー情報委員会

委員長 ① 藤田重成

副委員長 ② 伊藤英夫

委員 ③ 蜂屋良平

本委員会の任務は、全会員にロータリアンとしての必要な知識を提供し、新会員の教育同化を計るため、先ず委員自身が定款細則を精読し、手続要覧、ロータリーの友、ガバナー月信 R I ニュース及びロータリー文献等から情報源を得、下記事項を実施する。

### 1. 基本的情報の伝達及び解説（関連委員会と連繫を保ち）

イ. 先輩のロータリー精通者に依る卓話（年3回位）

ロ. 月一回以上例会時に3分間情報の提供

ハ. 週会報に月二回位の情報の伝達

ニ. ロータリークイズ年3回位実施

ホ. 特別なロータリー情報の伝達には

クラブフォーラム（四大奉仕部門関係）及び炉辺会合（難解情報関係）

を実施し検討会を催す。

### 2. 新しい会員の教育と同化

イ. 会員選考4段階の会員候補には、ロータリーの目的及び会員の特典と義務の説明をする。

ロ. 新会員には例会終了後随時教育を実施する。

ハ. 炉辺会合を設け、質疑応答に依る教育同化を企図する。

## スマイルボックス委員会

委員長 辻 国 明

副委員長 石 渡 英二郎

委 員 猪 熊 唯 夫

1. スマイルボックスの本質とは、あくまで会員個人の奉仕であることを各会員に深く関心と認識を持っていただきます。
2. 会員の自発的ご協力による、友情と友愛に満ちた情報を収集させていただき、あらゆる機会に善意あるスマイルを多くして、奉仕活動を増幅させる原動力とするための努力をします。
3. お互いに、スマイルするという自然な行為が芽生えるような、雰囲気づくりに最善の努力をします。

S. A. A.

長谷川 清 一

秩序正しく、品位ある内にも明るく楽しく、より気楽に、しかも能率的な例会の運営が維持されるように努める一方、健全なロータリー活動の源泉となるような雰囲気づくりを目指したいと思います。

- ① 例会定刻30分前には会場に赴き会場の準備に遺漏のないよう手配します。
- ② 席の配置については、親睦の増進に役立つよう、また、ゲスト、ビジターが全て適切に世話を受けられる所に着席できる配慮、検討に努めます。
- ③ おいしい食事を速やかに提供し、無駄なく楽しくいただけるよう留意します。
- ④ 例会が秩序正しく、能率的に行なえるよう私語や囁きに注意します。
- ⑤ 遅刻、早退者には気を配り、常習者の出ないように努めると共に、時間や約束が守られ、志気が高まるよう努めます。

## 職 業 奉 仕 委 員 会

委員 長 寺 田 伍 六

副委員 長 有 沢 昭 二

委 員 石 渡 英 二 郎

私達は、それぞれが職業奉仕を全うすることの責任を委ねられる人柄として選出されたものであり、各自はそれぞれの職業にロータリー精神を昂揚することの義務を負っているものであることを茲であらためて心したいと思います。

偉大な成功者である多くの先輩が70有余年に亘り研鑽を重ね、そして磨き上げられた職業奉仕の理念、と実践への教典、が私達のために示されております。

我が中クラブ会員は、遠大な職業奉仕の目的を達成するために先ず勉強し、そして熱意と勇気を以て励まし合い身近かなところから奉仕の実践に努力致します。

### 重 点 活 動

- (1) 例会卓話、会報寄稿、炉辺会合、フォーラム、等を以て職業奉仕活動を吹鼓し、その昂揚を計る。
- (2) 「四つのテスト、が会員各自の座右の銘として定着するには」、の方途を研究する。
- (3) 「四つのテスト、を職場に活用するには」、の事例研究を行う。



# 国際奉仕委員会

委員長	郡 司 守
副委員長	土 屋 翁 三
委 員	長谷川 清 一
	有 沢 昭 二
	松 本 忠 明

クラブ会員に国際奉仕とは、どのようなものであるか理解して頂くよう研究及び勉強を旨とした活動を心掛ける。例会等での勉強会をはじめ、実地に他国の人達との交流を取り入れ、国際理解と親善を深めるよう努力する。

## 活動の柱

### (1) 中国留学生との交流

大和市に滞在している中国留学生（9名）の援助活動及び交流をする。

- (A) 大和市商工業及び文化の紹介（見学会等）
- (B) 生活面での援助
- (C) 現代中国の研究（四つの近代化等についての卓話をして貰う）
- (D) 日本紹介（小旅行、大旅行企画）
- (E) 懇親会等による交流

### (2) 世界社会奉仕計画研究

クラブが世界社会奉仕計画に参加できるか研究する。大和市内の地域社会に呼びかけ理解者を得られ、資金調達が可能か特に研究する。

### (3) 青少年交換勉強会

地区青少年交換委員会委員 星 幸男 氏（大和R.C 前当クラブ特別代表）を招き勉強会を催し、青少年交換の理解者・協力者を育成する。

### (4) ロータリークラブ、アジア地域大会の参加者を多く募り、国際理解と親善と平和に寄与していただくよう努力する。

友好クラブの出来ることを期待する。

## ロータリー財団委員会

委員長 長谷川 清 一

副委員長 鈴木 久次郎

委員 藤 田 重 成

国際理解と親善の促進という財団の目的達成への参加と意義を十分に理解してもらえるように努力します。そのためには、財団に対する興味を喚起し、熱意を高め支持を得られるよう、クラブのプログラムを通じて、または、炉辺会合、クラブ会報などによって、財団への支援が続けられるよう奨励に努めますので、ご協力をお願いする次第です。

# 社会奉仕委員会

委員長 亀谷志郎

副委員長 中西功

社会奉仕活動は広範囲にわたる。環境保全、心身障害者問題、教育、福祉、社会安全、老令者問題等山積しているが、こゝでは全体として2つの見方をしたい。即ち社会の底辺にある人々及びそれを取りまく環境に対する奉仕活動と一つはボーダーラインに対してではなく、社会生活をより豊かに、より文化的、より科学的に営み得る様にする為の奉仕活動であると考ええる。

今年度の活動目標

1. 献血運動
2. 学校に対する緑化運動（新設小学校2校）
3. 図書館に対する書籍の寄贈（何等かの方法で）

出来ればこれは継続して行ない、図書館内に将来ロータリー書棚の設置を行なう。

4. 盲人施設に対する点字読本の寄贈
5. 大和市制定の福祉の日（10月15日）への協賛事業として老人の健康相談の実施。

## 青少年奉仕委員会

委員長 ① 伊藤英夫

副委員長 ② 土屋翁三

委員 ③ 近藤富士夫

本年度は国際児童年にも当り、特に青少年に関心がいやでも高まってはいるものの、現実には今一步と言う所です。当クラブとしては、地元地域社会における青少年事業にたずさわる方々との協力体制を重視し、且つ又青少年との“ふれあい”の場を提供し討論会、講演会等を行う。大和クラブのローター・アクトの助成にも協力する。

以上の事を目標に活動いたしたい所存です。

## 米山奨学記念委員会

委員長 有 沢 昭 二

副委員長 竹之内 弘 美

委 員 伊 藤 正 男

- (1) 主にアジア各国からの在日留学生に、奨学金を供与するのを目的としており、その主旨の徹底と啓蒙とに当る。
- (2) 基本の寄附金の拠出はもとより、時に応じて、寄附金の応募をうながし、その額の増加をはかる。
- (3) 米山功労者及び準米山功労者の推挙。そのため本委員会は、積極的にPRを行い、多くの功労者を出したい。
- (4) アジア各国からの留学生に対する家庭接待等、援助の手を差しのべる方法について考えたい。

## 75周年記念委員会

委員長	松本 忠明
副委員長	大高 安男
委員	寺田 伍六
	保田 達

当委員会は、ロータリー75周年の意義を会員並びに一般の方に認識して頂く事に有ります。まず各委員会特に広報、国際奉仕、社会奉仕に協力を依頼して75周年記念事業を行いたいと思います。

又他クラブと協議して出来る限りの協力を行い、一クラブでは出来ない大きな力にまとめる事に依り記念事業を意義の有るものにしたいたいと考えます。

記念行事は他クラブ合同に依り盛大に行う事が望ましい事ですが、もし協調出来兼ねる時は当委員会にて市内小中高校に呼びかけ、音楽発表会を行いたいと思います。

又75周年寄金を月1回会員に呼び掛け、その意義を認識を深めながら行事に掛る資金を作る事に努力します。

## 大和中ロータリークラブ会員名簿

	氏 名	生年月日 入会年月日	職 業 分 類	事 業 所 名	職 名
A	有 沢 昭 二	S 2. 6. 11 S 54. 3. 22	内 科 医	大 和 診 療 所	院 長
	芦 田 敬 治	S 2. 12. 12 S 53. 6. 23	外 科 医	芦 田 医 院	院 長
F	藤 田 重 成	T 10. 5. 15 S 53. 6. 23	鉄 骨 建 築	(有) 藤 田 工 務 店	代表取締役
	布 施 光 雄	S 7. 11. 23 S 54. 5. 10	建 築 材 料 輸 入	西 友 商 事 (株)	代表取締役
G	郡 司 守	S 8. 7. 24 S 53. 6. 23	板 金 打 貫 加 工	成 興 工 業 (株)	取締役社長
H	蜂 屋 良 平	T 4. 11. 10 S 53. 6. 23	陸 上 輸 送 業	日 本 ト ラ ッ ク (株)	代表取締役
	袴 田 和 雄	S 4. 10. 30 S 53. 8. 10	医 薬 品 販 売	(有) 健 康 堂 薬 局	代表取締役
	長 谷 川 清 一	T 14. 7. 12 S 53. 6. 23	経 営 コ ン サ ル タ ン ト	長 谷 川 経 営 コ ン サ ル タ ン ト 事 務 所	所 長
I	猪 熊 唯 夫	T 14. 9. 12 S 53. 6. 23	寝 具 販 売	(資) イ ノ ク マ 寝 具 店	代表社員
	石 渡 英 二 郎	T 10. 2. 16 S 54. 1. 8	和 風 レ ス ト ラ ン	鮎 忠 大 和 店	代表取締役
	伊 藤 英 夫	S 13. 3. 18 S 53. 6. 23	清 酒 販 売	カ ギ サ ン 酒 店	店 主
	伊 藤 正 男	M 44. 6. 15 S 54. 5. 10	貨 物 自 動 車 運 送 台 製 造	車 体 工 業 (株)	取締役社長
K	亀 谷 志 郎	T 11. 12. 14 S 53. 6. 23	診 療 所	中 央 診 療 所	院 長
	北 砂 富 三	S 7. 7. 20 S 53. 6. 23	損 害 保 険	ロ ー リ ン ズ ヒ ー ス ジ ャ ぱ ン (株)	支 店 長
	木 崎 健 祐	S 9. 7. 2 S 54. 2. 22	防 水 工 事	有 明 工 業 (株)	代表取締役
	近 藤 富 士 男	S 14. 1. 1 S 53. 12. 14	不 動 産 管 理	(株) 近 藤 商 事	代表取締役
M	松 本 忠 明	S 10. 7. 28 S 53. 6. 23	洋 菓 子 製 造	(有) チ ロ ル	代表取締役
N	中 西 功	S 20. 2. 7 S 53. 8. 17	建 築 材 料 販 売	(有) 中 西 商 店	専務取締役
O	大 高 安 男	S 4. 10. 20 S 53. 6. 23	木 造 建 築	(有) 進 栄 建 設	代表取締役
S	佐 藤 実	T 13. 2. 20 S 53. 6. 23	厚 鋼 板 加 工	三 和 建 鉄 (株)	専務取締役
	鈴 木 久 次 郎	S 8. 1. 21 S 53. 12. 7	清 涼 飲 料 販 売	(有) 鈴 木 酒 店	代表取締役
T	竹 之 内 弘 美	S 17. 2. 22 S 54. 4. 12	電 子 機 器 部 品 加 工	(有) 吹 上 製 作 所	代表取締役
	寺 田 伍 六	T 10. 6. 14 S 53. 6. 23	土 木 業	(株) 寺 田 土 木	代表取締役
	富 沢 重 徳	S 14. 4. 8 S 53. 6. 23	不 動 産 賃 貸	と み さ わ ビ ル (株)	専務取締役
	土 屋 翁 三	S 16. 5. 9 S 53. 6. 23	医 薬 品 製 造	サ ン 薬 品 工 業 (株)	専務取締役
	辻 国 明	S 9. 2. 11 S 53. 7. 27	コ ン プ ュ ー タ ー シ ス テ ム	(株) 日 本 コ ン プ ュ ー タ ー ユ ー セ ー ジ	代表取締役
U	上 田 利 久	S 4. 1. 23 S 53. 6. 23	小 児 科 医	ウ エ タ 小 児 科	院 長
Y	保 田 達	S 6. 12. 8 S 54. 4. 12	冷 暖 房 空 調 設 備	(株) ト オ ル 設 備 工 業	代表取締役



別表 (1)

事業所所在地	電話	自宅住所	電話	千
大和市中央林間 1-17-9	(74)4315	東京都杉並区下高井戸 5-7-20	03(303)7761	168
〃 南林間 4-6-7	(74)0906	大和市南林間 4-6-7	(74)0906	242
〃 南林間 1-5-15	(74)3931	〃 南林間 1-5-15	(74)3931	242
〃 上草柳 144-27	(63)6051	〃 上草柳 144-4	(63)0391	242
〃 深見 791	(61)7337	横浜市旭区万騎が原 145	045(363)5118	241
〃 福田 4766-1	(69)2002	〃 鶴見区北寺尾 1-13-13	045(581)0692	230
〃 中央林間 4-5-15	(75)5235	大和市中央林間 4-5-15	(75)5235	242
〃 上草柳 3-16-7	(61)3741	〃 上草柳 3-16-7	(61)3741	242
〃 大和東 3-1-20	(61)0653	〃 大和東 3-1-20	(61)0672	242
〃 大和東 3-1-1	(61)0310	〃 大和東 3-3-1	(61)2613	242
〃 下鶴間 3144	(61)3667	〃 下鶴間 3144	(63)3000	242
〃 下鶴間 3050-1	(61)3111	東京都大田区上池台 4-37-8	03(729)6235	145
〃 中央林間 4-25-17	(74)4853	大和市中央林間 4-25-17	(74)4853	242
相模原市南台 1-18-1	0427(46)1810	〃 南林間 5-2-16	(74)1230	242
大和市林間 2-17-1	(74)3522	相模原市東林間 3-11-8	0427(45)2560	228
〃 中央 2-3-1	(61)5545	大和市中央 2-2-15	(61)6836	242
〃 大和南 1-5-11	(61)6573	横浜市瀬谷区瀬谷町 615-1	045(301)5206	246
〃 鶴間 2-14-5	(74)9765	大和市鶴間 2-14-5	(74)4655	242
〃 中央林間 2-13-15	(74)3123	〃 中央林間 2-13-15	(74)3123	242
〃 深見 554	(61)2410	〃 南林間 6-3-2	(74)4367	242
〃 南林間 6-11-15	(74)8768	〃 南林間 6-11-15	(75)0214	242
〃 下鶴間 2757-1	(61)2616	〃 つきみ野 5-12-6	(75)2120	242
〃 上草柳 395	(61)1294	〃 下鶴間 3442	(61)1297	242
〃 深見 3382	(61)0372	〃 大和南 2-4-20	(62)0744	242
〃 深見 784	(61)3714	〃 下鶴間 3638	(75)3225	242
東京都港区芝公園 2-10-2	03(434)6571	〃 南林間 5-7-27	(74)2983	242
大和市林間 2-17-6	(74)6240	〃 林間 2-17-6	(75)1540	242
〃 下和田 1243	(67)6731	相模原市陽光台 1-12-6	0427(58)2222	229

## 理事・役員・委員会一覧表

別表 (2)

理 事	芦 田 敬 治 佐 藤 実 郡 司 守 寺 田 伍 六 亀 谷 志 郎 伊 藤 英 夫 蜂 屋 良 平		会 長 芦 田 敬 治 副会長 佐 藤 実 役 員 幹 事 北 砂 富 三 " 副幹事 富 沢 重 徳 " S.A.A. 長 谷 川 清 一 " 副 S.A.A. 富 沢 重 徳 " 会 計 辻 国 明
-----	---	--	---

### 委 員 会

クラブ奉仕	担当理事 佐藤 実			国際奉仕	担当理事 郡司 守		
	委員長	副委員長	委 員	郡司 守、土屋翁三、長谷川清一、有沢昭二、松本忠明			
出席委員会	大高 安男	松本 忠明	富沢 重徳	ロータリー財団委員会	長谷川清一	鈴木久次郎	藤田 重成
職業分類委員会	①猪熊 唯夫	②上田 利久	③袴田 和雄	米山奨学記念委員会	有沢 昭二	竹之内弘美	伊藤 正男
クラブ会報委員会	上田 利久	竹之内弘美	郡司 守	75周年記念委員会	松本 忠明	大高 安男	寺田 伍六 保田 達
親睦活動委員会	中西 功	保田 達	木崎 健祐 布施 光雄				
雑誌委員会	鈴木久次郎	伊藤 正男		職業奉仕	担当理事 寺田 伍六		
会員選考委員会	富沢 重徳	近藤富士夫	亀谷 志郎		寺田 伍六	有沢 昭二	石渡英二郎
会員増強委員会	木崎 健祐	中西 功	寺田 伍六				
プログラム委員会	土屋 翁三	袴田 和雄	保田 達	社会奉仕	担当理事 亀谷 志郎		
広報委員会	保田 達	辻 国明			亀谷 志郎	中西 功	
ロータリー情報委員会	①藤田 重成	②伊藤 英夫	③蜂屋 良平				
スマイルボックス委員会	辻 国明	石渡英二郎	猪熊 唯夫	青少年奉仕	担当理事 伊藤 英夫		
					伊藤 英夫	土屋 翁三	近藤富士夫

## 歴年会務分担表

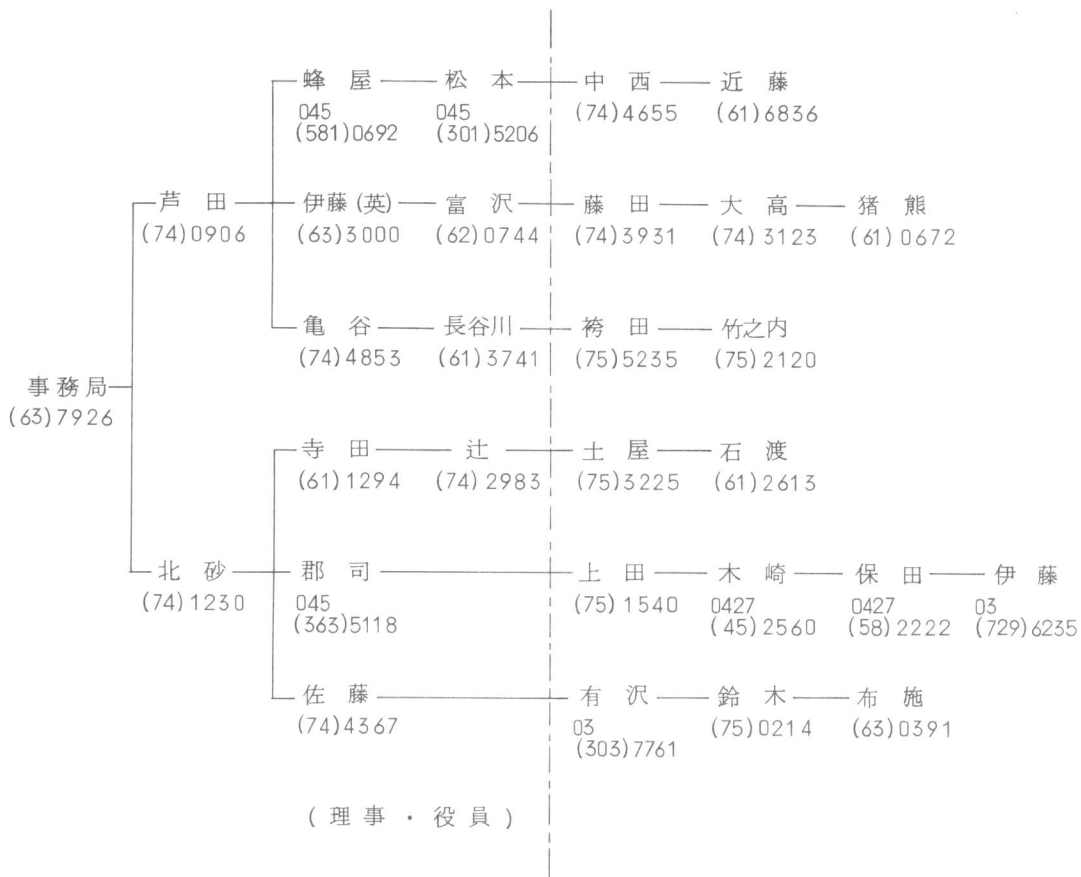
◎委員長  
○副委員長  
△委員

	会 員 名	入会年月日	(53年) 1978～1979	(54年) 1979～1980
1	芦田敬治	S.53年6月23日	(理事)◎職業奉仕 ○社会奉仕 ○会員増強	(理事)会 長
2	淡谷光彦	"	(理事)◎ロータリー財団	
3	藤田重成	"	◎広報 ○ロータリー情報	◎ロータリー情報 △ロータリー財団
4	郡司守	"	◎会員増強 ○クラブ会報	(理事)◎国際奉仕 △クラブ会報
5	蜂屋良平	"	(理事)副会長・会長	(理事) △ロータリー情報
6	長谷川清一	"	幹事	△国際奉仕 S.A.A. ◎ロータリー財団
7	猪熊唯夫	"	◎親睦活動 ○職業分類	◎職業分類 △スマイル
8	伊藤英夫	"	◎出席 △ロータリー情報 ○青少年奉仕	(理事)◎青少年奉仕 ○ロータリー情報
9	亀谷志郎	"	◎職業分類 ○会員選考	(理事)◎社会奉仕 △会員選考
10	北砂富三	"	◎ロータリー情報 ○国際奉仕	幹事
11	小菅兼三郎	"	◎スマイルボックス ○雑誌	
12	松本忠明	"	◎米山奨学 ◎75年 ○親睦活動 ◎スマイル	◎75周年 ○出席 △国際奉仕
13	宮之原寛一	"	会計 ○ロータリー財団	
14	小笠原一四	"	(理事)◎社会奉仕	
15	大高安男	"	◎プログラム ○広報	◎出席 ○75周年
16	佐藤実	"	(理事)◎国際奉仕	(理事)副会長
17	須藤正道	"	(理事)◎青少年奉仕	
18	寺田伍六	"	◎会員選考 ○職業奉仕	(理事)◎職業奉仕 △会員増強 △75周年
19	富沢重徳	"	S.A.A. ○出席	副幹事 ◎会員選考 副S.A.A. △出席

	会 員 名	入会年月日	(53年) 1978～1979	(54年) 1979～1980
20	土 屋 翁 三	S.53年 6月23日	◎クラブ会報 ○プログラム △青少年奉仕	◎プログラム ○国際奉仕 ○青少年奉仕
21	上 田 利 久	”	◎雑誌 △職業分類	◎クラブ会報 ○職業分類
22	矢 野 久 元	”	(理事)会 長	
23	辻 国 明	S.53年 7月27日	△親睦活動	会計 ◎スマイル ○広報
24	袴 田 和 雄	S.53年 8月10日	△親睦活動	○プログラム △職業分類
25	中 西 功	S.53年 8月17日	△親睦活動	◎親睦活動 ○会員増強 ○社会奉仕
26	鈴 木 久次郎	S.53年12月 7日	△親睦活動	◎雑誌 ○ロータリー財団
27	近 藤 富士男	S.53年12月14日	△親睦活動	○会員選考 △青少年奉仕
28	石 渡 英二郎	S.54年 1月18日	△親睦活動	○スマイル △職業奉仕
29	木 崎 健 祐	S.54年 2月22日	△親睦活動	◎会員増強 △親睦活動
30	有 沢 昭 二	S.54年 3月22日	△親睦活動	◎米山奨学 ○職業奉仕 △国際奉仕
31	山 田 旭	S.54年 4月 5日	△親睦活動	
32	保 田 達	S.54年 4月12日	△親睦活動	◎広報 ○親睦活動 △プログラム △75周年
33	竹之内 弘 美	”	△親睦活動	○クラブ会報 ○米山奨学
34	伊 藤 正 男	S.54年 5月10日	△親睦活動	○雑 誌 △米山奨学
35	布 施 光 雄	”	△親睦活動	△親睦活動

# 大和中ロータリークラブ電話連絡網

別表 (4)



( 註 )

1. 内容確かめて、正確・迅速に伝える。
2. 最後の人は連絡受領の報告を各自の最初の人に(受けた内容も含めて)連絡して下さい。
3. 番号は自宅のものです。勤務先は会員名簿にて参照。